

●防災ひとくちメモの解説

地震などの自然災害時の電気製品の取り扱い、電気火災の対策を考えておきましょう！

電気製品はスイッチを切りプラグを抜いて。

ブレーカーは「切」にして避難しましょう。

水にぬれた電気製品は必ず点検してから使いましょう。

○自然災害時の電気火災対策／感震ブレーカー（神戸市ホームページ）

電気火災対策には、**感震ブレーカー**が効果的です。

「**感震ブレーカー**」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

分電盤タイプ(内蔵型)

費用: 約5～8万円(標準的なもの)
※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

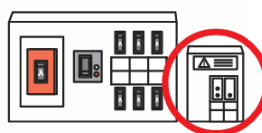


分電盤タイプ(後付型)

費用: 約2万円
※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



コンセントタイプ

費用: 約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

(埋込型)

壁面などに取り付けて使うもの

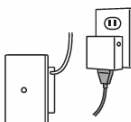
※電気工事が必要



(タップ型)

既存のコンセントに差し込んで使うもの

※電気工事が不要

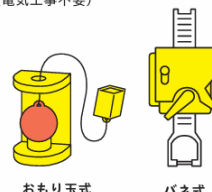


簡易タイプ

費用: 約2～4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能
(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



おもり玉式

バネ式

○災害時における電気の対処（関西電気保安協会ホームページ）

使用中の電熱アイロン、ドライヤーなどは「切」の状態に。

水にぬれた電機製品は必ず点検しましょう。



●6月の地震発生状況

国土交通省 気象庁ホームページから引用

25日 岩手県沖

震度6強

26日 山梨県東部・富士五湖

震度6弱

●プラザ防災対策委員会ホームページ

<https://bousai-kpp.net>

